

# 教育委員会定例会会議録

令和元年 8月15日（木）

## 教育委員会定例会会議録

令和元年8月15日午後3時00分、教育長竹内清が教育委員会定例会を茅ヶ崎市役所分庁舎5階特別会議室に招集した。

会議出席委員は、次のとおり。

教育長 竹内 清    委 員 赤坂雅裕    委 員 城田禎行  
委 員 豊嶋常和

2 会議出席事務局職員は、次のとおり。

教育総務部長 竹内一郎	教育推進部長 中山早恵子
教育指導担当部長 吉野利彦	教育総務課長 前田典康
教育施設課長 大谷 篤	学務課長 藤木徹也
教職員担当課長 工藤裕一郎	教育政策課長 小池吉徳
学校教育指導課長 青柳和富	社会教育課長 石井 亨
小和田公民館担当課長兼館長 鈴木俊也	鶴嶺公民館担当課長兼館長 三浦悦子
松林公民館担当課長兼館長 森井 武	南湖公民館担当課長兼館長 高木直昭
香川公民館担当課長兼館長 鈴木 朗	青少年課長 岡本隆司
体験学習センター担当課長 太田幸久	図書館長 佐藤 勇
教育センター所長 高橋 励	

3 会議の大要は、次のとおり。

午後3時00分開会

○竹内教育長 それでは、ただいまから8月定例会を開催いたします。

日程第1 教委議案第38号令和元年度教育委員会の点検・評価についてを議題といたします。

担当事務局、説明をお願いいたします。

○教育政策課長 日程第1 教委議案第38号令和元年度教育委員会の点検・評価についてにつきまして、教育政策課長よりご説明申し上げます。

議案書の1ページと別冊の資料1をごらんください。

本案は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づく令和元年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価結果に関する

報告書を決定するためご提案するものでございます。

なお、同条第2項による教育に対する学識を有する者の知見の活用については、5月16日開催の教育委員会定例会におきまして、茅ヶ崎市教育基本計画審議会へ諮問する検討をいただき、その後、5月29日に開催された同審議会に諮問し、3回のご審議を経て、7月17日付で同審議会から答申をいただきました。答申された内容につきましては報告書作成に活用しております。

それでは、別冊資料1をごらんください。

1ページは、教育委員会の点検・評価と教育基本計画の進行管理の一体的実施の考え方、点検・評価の対象などを記載しております。

2ページから3ページでは指標についての仕組みを記載しております。

4ページから6ページでは、教育基本計画の趣旨、範囲、期間、計画策定の視点、構成、体系など、教育基本計画の概要を記載してございます。

7ページ以降が教育委員会事務局の自己評価となっております。自己評価は事業ごとに行い、教育基本計画審議会からの知見は3つの政策に対していただきました。審議会での議論を踏まえた学識経験者の知見について答申をいただきました。

「政策1 豊かな人間性と自律性をはぐくむ学校教育の充実」につきましては、36ページから42ページに記載されております。学校教育の充実を目指した4つの施策それぞれに対して知見をいただきました。

政策1の諸事業は、目標達成という意味では、着実、適切に実施されていたと総括をされています。同時に、不断の見直しを行いながら、引き続き真摯な対応に努め、教育基本計画の理念に基づき、さまざまな施策事業として事業を行い、茅ヶ崎市の学校教育の質的充実を図っていくことを求められております。

続きまして、「政策2 学びあい響きあう社会教育の充実」につきましては、78ページから83ページに記載をしております。社会教育の充実を目指した3つの施策それぞれに対して知見をいただきました。

政策2のうち、施策5及び6については、自己評価において、各施策の目標がおおむね高水準で達成されている中、社会教育の振興を図り、地域の学習環境を豊かにするために、確実な事業運営と時代や地域の実情に合わせた柔軟性と発展性を求められました。

政策2のうち施策7については、現在継続している2つの大きな整備事業の着実な推進と、茅ヶ崎市が先駆けて実施しているエコミュージアム事業の地道な継続が求められまし

た。

「政策3 教育行政の効率的・効果的運営」につきましては、93ページから95ページに記載をしております。教育行政の効率的・効果的運営を目指した2つの施策それぞれに対して知見をいただきました。

政策3の諸事業は、着実な政策運営に係る重要な柱であり、時代の変化を適切に捉え、不断の見直しを着実にを行うことで、適切な施策の実施を図っていくことを求められました。

知見の最後でご指摘をいただいたことではありますが、教育基本計画が家庭教育、学校教育、社会教育、地域の教育力の相互作用の中で、1人の人間として成長し、人格形成が行われるという人づくりの視点を大切にしていることを改めて確認し、教育行政として着実な事業執行をまいります。

なお、この点検・評価につきましては、今後、市議会へ報告及び市民への公表を行う予定です。

説明は以上です。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○竹内教育長 説明が終わりました。ご意見、ご質問等がございましたらお願いいたします。

○城田委員 審議会の方々にも大変丁寧に知見をいただきまして、私も拝見させていただきました。大変すばらしい評価をいただいているなと思って読ませていただきました。

特に83ページの部分に関しましては、私も共感する部分がいっぱいありまして、下寺尾官衙遺跡群やふるさと発見博物館事業も、これからの茅ヶ崎にとって目玉になる部分ではあると思っておりますので、ぜひいろいろな市民の方々と協力し合って進めていければなと思っております。大変だとは思いますが、この言葉を胸にしっかり刻んでやっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○竹内教育長 ほかにいかがでしょうか。

○赤坂委員 63ページの子ども会育成事業に関して1点あります。

審議会からの答申に保護者や関係者からの意見聴取による現状把握を行う必要がある、そういう知見をいただいております。本当にそのとおりだなと思っております。評価がCになっていますので、このCという評価がひとり歩きするのが、これは本当に怖い。もう私が見る限り、青少年課も茅ヶ崎市子ども会連絡協議会だとか青少年指導員の方々も本当によく頑張っておられる、働いておられる。94人しか集まらなかったということでCです

けれども、私から言わせれば、90人以上も集まって活動している。これはすばらしいことじゃないか。今の子供たちというのは、本当に塾だとか習い事だとか忙しくて、何かこういう活動ってできない。その中で、90人以上が集まっている。これは本当にすばらしいことだと思うんです。目標値がやっぱり設定ミスなんですね。だから、この辺を本当に現状把握をしっかりと、今子供たちの数はどうなのか。子供たちがどうなのか。現状把握をしっかりと、今度目標値を設定するときは、間違いのない目標値を設定するということをやっていきなと思います。

○竹内教育長 ほかにいかがでしょうか。

○豊嶋委員 子供たちの学校の教育がとても大事だと思いますけれども、学びをわからない子供とか、そういった子供に対しての支援がいろいろふれあい補助員の方がいらしたり、いろいろな方が応援していること、茅ヶ崎の教育の中ではとても大事なことだと思いますので、これまた引き続き評価されて、それが続いていくことを願っています。

また、家庭にあっては、やはり地域の方の力もとても大切で、先生たちの負担も少なくなっているということが書いてあったんですけども、地域の方々の子供に関心を持って、そして子供たちを応援していくことがとても大事なことはないかなと思いました。

それから12ページです。学校支援・地域連携事業というところで、下の課題・今後の取り組みのところ、2行目に「各学校の教職員の負担感につながる」ということが書いてあったんですけども、ずっと負担感になっているんだとしたら、地域の方たちの事業はとても大事なことで、応援していただけるとうれしいことかなと思っております。

あとは16ページです。さまざまな子供がいろいろ抱えている問題、そういったことを早期発見していったり、解決するためのスクールカウンセラーとか必要な相談支援ができる体制が充実してきたと思うんですけども、他機関との連携、協力のもとというのは、いろいろな機関がそれぞれがということではなくて、横断的にいろいろなところと相談ができて、その家庭が安心できるという意味で、そういう横断的なことも大事なことはないかなと思いました。子供たちの学び、そして心の問題、家庭のこと、あと地域のこと、それから小さい赤ちゃんから大人までのいろいろな社会教育とか、全てが書かれていますけれども、本当にそれを続けていただけたらうれしいことかなと思っております。

○竹内教育長 ありがとうございます。ほかにご意見はよろしいですか。

日程第1 教委議案第38号令和元年度教育委員会の点検・評価については原案のとおり決定することでいかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○竹内教育長 それでは、原案のとおり決めます。

次に、日程第2 教委報告第27号令和元年度第1回茅ヶ崎市インクルーシブ教育検討委員会についてを議題といたします。

担当事務局、説明をお願いします。

○学校教育指導課長 日程第2 教委報告第27号令和元年度第1回茅ヶ崎市インクルーシブ教育検討委員会について、学校教育指導課長よりご報告申し上げます。

資料につきましては2ページより23ページを順次ごらんください。

茅ヶ崎市インクルーシブ教育検討委員会は本年度新たに設置した会議でございます。一昨年度まで開催してきた茅ヶ崎市立小・中学校特別支援学級増設検討委員会及び昨年度開催した茅ヶ崎市特別支援教育検討委員会において協議してきた内容に加え、共生社会を視野に入れた協議を行うことを目的として、学校関係者と教育委員会事務局が協議する会議として位置づけているものでございます。

3ページから4ページをごらんください。本検討委員会設置要綱の第8条、「委員長は、検討委員会の会議の結果を教育長に報告しなければならない」と示されており、引き続き教育委員の皆様にも情報を共有していただくために、教育委員会へ報告させていただくものでございます。

5ページをごらんください。本年度第1回の検討委員会は、次第のとおり、6月27日に開催いたしました。

6ページをごらんください。委員につきましては名簿のとおりでございます。

内容につきましては、初めに、7ページの資料をもとに、本年度本検討委員会で検討していただきたい事項について協議いたしました。

続いて、8ページから10ページ、資料2及び3にお示した国や県の状況や、11ページから12ページ、資料4及び5にお示した市の状況をもとに、本市における多様な学びの場の現状と課題について協議いたしました。

13ページ及び14ページをごらんください。令和3年度から始まる新総合計画期間内における工事手法の変更による年3校ずつの特別支援学級設置計画について協議いたしました。

16ページをごらんください。次年度就学に向けた下肢障害等がある児童のための施設改修や、肢体不自由級の開設等について協議いたしました。

なお、本検討委員会の会議録（概要）を17ページから23ページに添付しておりますので、こちらをご参照くださるようお願いいたします。

以上、ご確認のほどよろしくをお願いいたします。

○竹内教育長 説明が終わりました。ご意見、ご質問等がございましたらお願いいたします。

○赤坂委員 では、質問を幾つかさせていただきます。

まず11ページですが、小学校の児童の推移に関しまして、平成30年度は138人なんですけれども、令和元年度は171人と急激に伸びているんですが、これは何か理由はあるんでしょうか。

○学校教育指導課長 一番近い理由は2つありますけれども、1つ目は、昨年度の6年生の卒業生が15名であったのに対して、本年度新入学生が36名入っております。これでまず21名ふえております。年度によって多少ばらつきがございます。もう1点は、全体的な就学措置の人数が、昨年度が42名であったのに対し、今年度55名、こちらも13名ふえていますので、したがって、私が今申し上げた数字が34名、こちらの数字が33名ですので、全体的に特別支援学級のニーズがふえているということと、学年によるばらつきがあるということでございます。

○竹内教育長 ほかにいかがでしょうか。

○赤坂委員 では、12ページのほうですが、円蔵小学校が30年度は20人、令和元年度が30人と急にふえているんですけれども、これは何か理由はございますか。

○学校教育指導課長 円蔵小学校は、平成26年度に開設させていただきまして、その当時は8名からスタートしております。今年で6年目を迎えるんですが、今年度10名新しい1年生が入られました。うち、基本的には円蔵小学校のすぐそばにある鶴が台小学校、香川小学校、室田小学校について、特別支援学級が設置されていない状況にございまして、かなり特別支援学級としての学区は広い状況にあるということが一点でございます。

もう一点は、特別支援学級に入るお子さんにつきましては、入る学校について、こちらがこの学校にしてくださいというだけではなくて、若干幅を持たせていますが、円蔵小学校のほうが今回希望が多かったというところもございます。実際10名中、特別支援学級がある学区の学校からも3名入っておりますので、もともと入っていたお子さんの先輩のお母さん方から評判を聞いて、もちろん入るべき学区の学校の体験とかもしてはいますけれども、両方比べた上で、こちらの学校に入りたいという希望が今回は多かったということ

でございます。

○赤坂委員 円蔵小学校はこのように急にふえて、施設面だとか教員の面で対応はできていますか。大丈夫ですか。

○学校教育指導課長 今回、ふれあい補助員もいまだかつてない人数を、5名から6名、教員のほうも県のほうでしっかりつけていただいて、お子さんをしっかりと支援できるような体制は整えています。ただ、30名ですので、校外学習とか行くときにはかなり気を使う状況になっています。

○赤坂委員 わかりました。ありがとうございます。

○竹内教育長 ほかにいかがでしょうか。

○城田委員 13ページに特別支援学級増設の計画というのが提示されておりますけれども、年3校ということで、この計画どおり進められるようなことをやっていっていただきたいというのがあります。なかなか一気ににはできないと思いますけれども、ぜひこのくらいのペースでしっかりと、議論の中で、ハード面だけじゃなくて、ソフト面についても、教育長が述べていますが、そういったところもしっかりと計画どおり進めていただきたいなど。よろしく願いいたします。

○竹内教育長 ほかにご意見、ご質問はございますか。

特にご意見等がなければ、日程第2 教委報告第27号令和元年度第1回茅ヶ崎市インクルーシブ教育検討委員会についての報告を終了いたします。

ここで皆様にお諮りいたします。これ以降の議題は予算に関する案件等でございますので、その性質上、非公開といたしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○竹内教育長 では、異議なしと認め、非公開といたします。

午後3時20分閉会